



大正・昭和の鳥瞰図絵師

連載—第6回

吉田初三郎の世界

『大軌電車沿線案内 [大軌電車沿線名所図絵]』
(昭和2 (1927)年 大正名所図絵社)

大正14 (1925)年12月に発行した「大軌電車沿線案内」を
路線など一部改訂して発行。図絵裏の沿線案内文は大軌電車
運輸課が担当している。



大軌電車沿線案内

大軌電車沿線名所図絵

文・藤本一美

text by Kazumi FUJIMOTO

近畿日本鉄道（近鉄）の前身とも
いえる大阪電気軌道（大軌）は、明
治四十三年九月、資本金三〇〇万円
で大阪と奈良を結ぶ路線を敷設する
ために奈良軌道の名で発足したこと
に始まる。

大正三年には難関の生駒トンネル
の開削により最初の路線、大阪の上
本町と奈良間（現・奈良線）三〇・
六キロメートルを開業。その後、大正十年に
天理軽便鉄道の事業譲渡を受け、翌
年には生駒鋼索線を合併。十二年の
橿原神宮方面への畝傍線（現・橿原線）
全通、昭和二年の八木線全通と続く
のが本図だ。

さらにバックグラウンドの伊勢へ
の足を延ばすため参宮急行電鉄を設
立し、昭和六年には宇治山田まで開
通（本図では計画線。現・大阪線
山田線）。大阪から伊勢神宮への日帰
り参拝を可能にしていく（名古屋に
も）「大近鉄」への萌芽を汲み取る

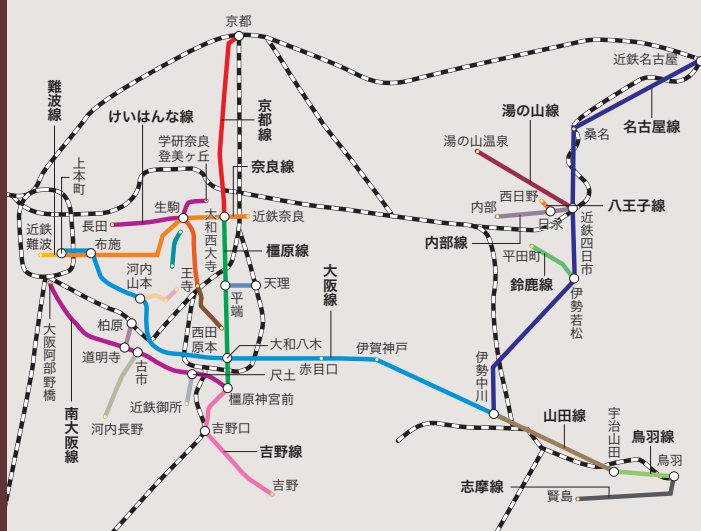
藤本一美

首都大学東京（都立大学）非常勤講師。日本国際地図学会常任委員。鳥瞰図・展望図資料室兼山岳情報資料室主宰。
近・現代の鳥瞰図絵師の作品収集と研究に精力的に取り組んでいる。近著に『旅と風景と地図の科学Ⅱ』（2006年）がある。



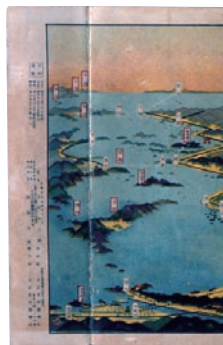
近畿日本鉄道株式会社
 Kintetsu Corporation
 創業：明治43年9月16日
 設立：昭和19年6月1日
 本社：大阪市天王寺区上本町6丁目1-55

近畿日本鉄道株式会社 路線図



街へ、暮らしへ、広がる
近鉄ネットワーク。

保有客車数 1976両、総延長 508.2km、
 1日の輸送人員 168万人。大阪府・奈良
 県・京都府・三重県・愛知県の2府
 3県にまたがる路線網は、JRグル
 ープを除き日本の鉄道事業者の中で最長
 を誇る。平成21年春には阪神電気鉄
 道との相互直通運転が開始される予定
 で、奈良と神戸が1本の路線で結ば
 れることになる。運輸事業を核に、レ
 ジャー・サービス、流通、不動産など
 暮らしに密着したさまざまな事業・サー
 ビスを展開し、沿線の活性化、快適な
 都市づくりに取り組んでいる。



彩色図絵でもある。

その後の路線拡張は、奈良電鉄、
 信貴生駒電鉄、三重電鉄などとの合
 併へと続き、現近鉄の路線網がほぼ
 確立していくのだが、当時の沿線状
 況は、主に初三郎が描画している。
 参考までに作品を列挙しておきたい。

- ・「伊勢電鉄御案内」（昭和二年）
- ・「奈良電気沿線名所図絵」（昭和三年）
- ・「参宮急行名所図絵」（昭和五年）
- ・「信貴山名所図絵」（昭和五年）
- ・「大峯山大台ヶ原 吉野群山大図絵」（昭和六年・大軌電車刊）

さて、本題に戻って初三郎得意の
 大胆な構図はどうだろう。図の左端
 の大阪を基点に右へ赤い路線網（黒
 は国鉄線）が延伸。中間に生駒山の
 名勝を、右端に堂々と大峯山系の吉
 野山（桜の名所）や高野山金剛峯寺、
 鳥羽の先、伊勢湾越しには日本の象
 徴富士山を配置している。

奈良の大仏殿や春日神社、法隆寺、
 橿原神宮などは、境内配置図の絵柄
 で分かりやすい筆致なので、今に
 も図絵を携えて歩いてみたい衝動に
 かられそうだ。

初三郎の画室があった大日本ラ
 インや電車、船の浮かぶ大阪湾・瀬
 戸内海、遙か遠くに中国・朝鮮まで
 描画しているのは「遊び心」か。